

# 町長急逝!!

午前7時15分  
朝露のごとく去る



故 馬場幸太郎町長

## 略 歴

故馬場町長は、大正八年一月二十六日光町宮川七四〇六番地馬場太郎之進氏の長男として生れ、農事に精励するため千葉県立匝瑳中学校から県立旭農学校に転学、昭和十一年三月同校を卒業する。

昭和二十二年七月東陽村消防団第九分団長、昭和二十四年一月東陽村消防団本部員、昭和三十三年一月光町消防団本部長に就任し、住民の安全と消防団の

発展に尽力される。

昭和三十三年七月農業委員会委員に当選して農政の推進に力量を示し、昭和三十八年四月光町議会議員に当選し、昭和四十四年七月退職。続いて光町助役に推され椎名町政の支えとなる。

昭和五十年四月光町長に初当選、以来十一年余の間町政の執行者となる。その間、東陽病院組合管理者、千葉県と畜場協会長、千葉県総合事務組合監査委員、千葉県町村会政務調査会委員、八匳水道企業団副管理者、八日市場市外三町消防組合長、

海匠町村会長、千葉県町村会評議員等の要職にあつて卓越せる手腕を発揮せられ、町行政の執行にあたっては、町内小中学校校舎の全面増改築、完全米飯による学校給食センターや町体育館、町民会館の建設、新東京国際空港の開港に伴うテレビ電波障害対策、上水道の普及、東陽食肉センターの整備と合わせ畜産振興対策、農業生産基盤整備等の産業、教育並びに町民生活の向上発展を目指して豊かな町づくりに貢献せられた。

## 光町・東陽病院組合・馬場家合同葬

### おごそかに執行される

心不全のため忽然と幽明境を異にされた馬場町長の葬儀が、四月二十五日町体育館において厳粛に執り行われました。

式場には、白い菊花に囲まれた町長の大遺影が掲げられ、姉妹町松田町や各方面から寄せられた生花が飾られた。

午後〇時五分、消防団、防犯指導員、役場職員の立ち並ぶ中式場前に降りた町長の遺骨は、消防団幹部により祭壇へ安置されたのであります。

沼田県知事、国会議員、県議会議員、市町村長を始め、国県

の各機関の代表、町内団体の代表者、一般から式場を埋つくす多数の参列を得、午後一時に町内各寺院の僧侶が着席して葬儀が開始されました。

「とき恰も、天地躍動する春を迎え、生きとし生けるものは嬉々としているとき、運命は何たる無情でありましょう。私達一万一千有余の光町の舵取りであり、又顔である馬場幸太郎町長を何の前触れもなく忽然と奪い取ってしまったのであります。運命の悪戯に対し、怨むに怨みきれない激しい怒りと深い悲し



▶職員らに迎えられ式場に到着



▶消防団幹部による遺骨の捧持